

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 06月 27日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県磐田市東貝塚1578番地

氏名 NTN株式会社 磐田製作所

澤津橋 寿久

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0538 - 37 - 8000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	NTN株式会社 磐田製作所		
事業場の所在地	静岡県	磐田市	東貝塚1578番地
事業の種類	輸送用機械器具製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023/4/1 ~ 2024/3/31		

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	27,650.356 t	全処理委託量	4,146.921 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	555.593 t	優良認定処理業者への処理委託量	3,420.695 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	4,116.751 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	22,369.161 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.276 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	32.967 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 汚泥 (泥状のもの))

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 13,706.221

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 12,343.215

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 1,166.960

自ら中間処理により減量した量

⑦ 11,176.255

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 587.810

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 1,363.006

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 753.556

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 1,337.504

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.162

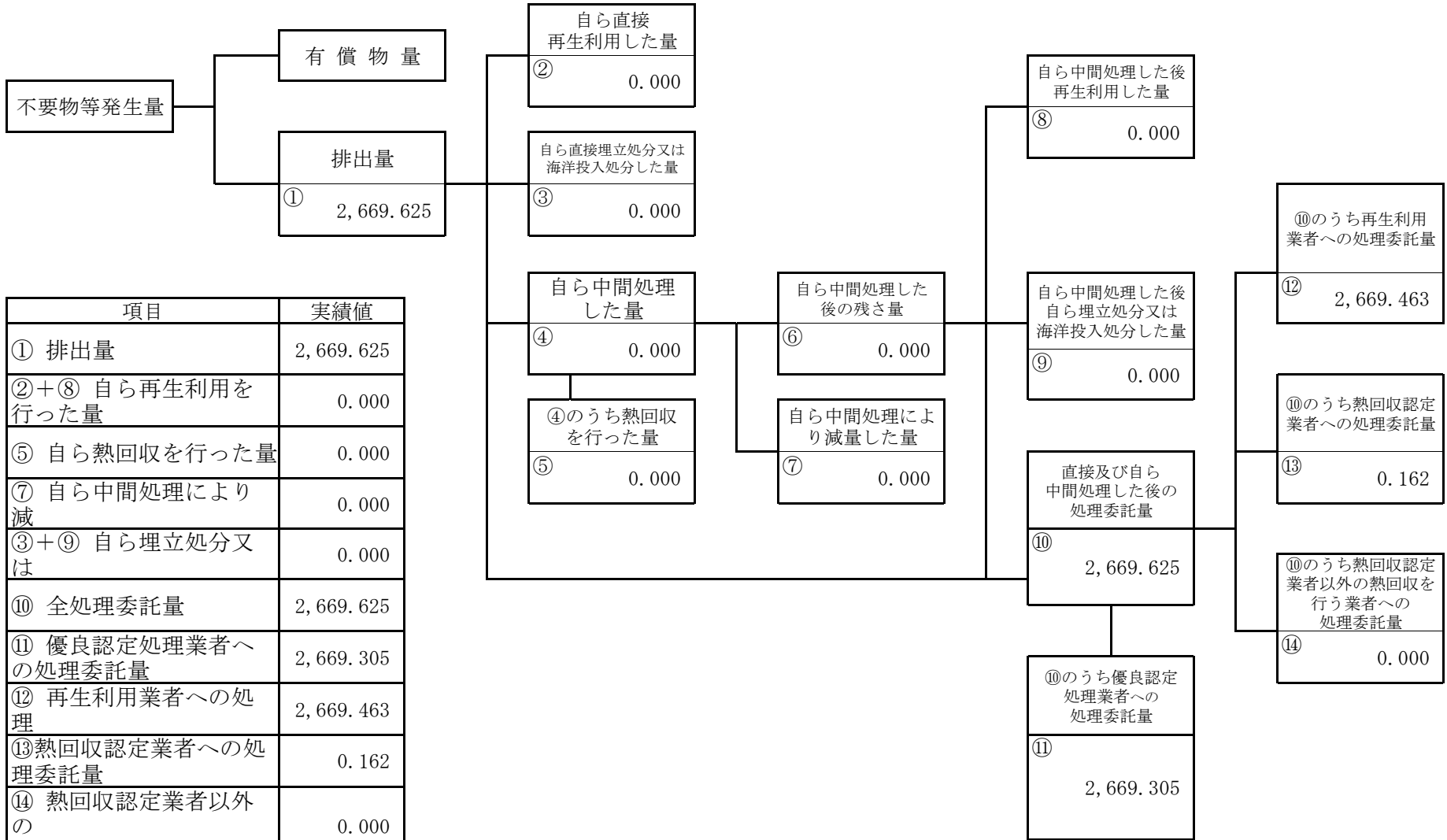
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 25.340

項目	実績値
① 排出量	13,706.221
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	587.810
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	11,176.255
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	1,363.006
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	753.556
⑫ 再生利用業者への処理	1,337.504
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.162
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	25.340

計画の実施状況

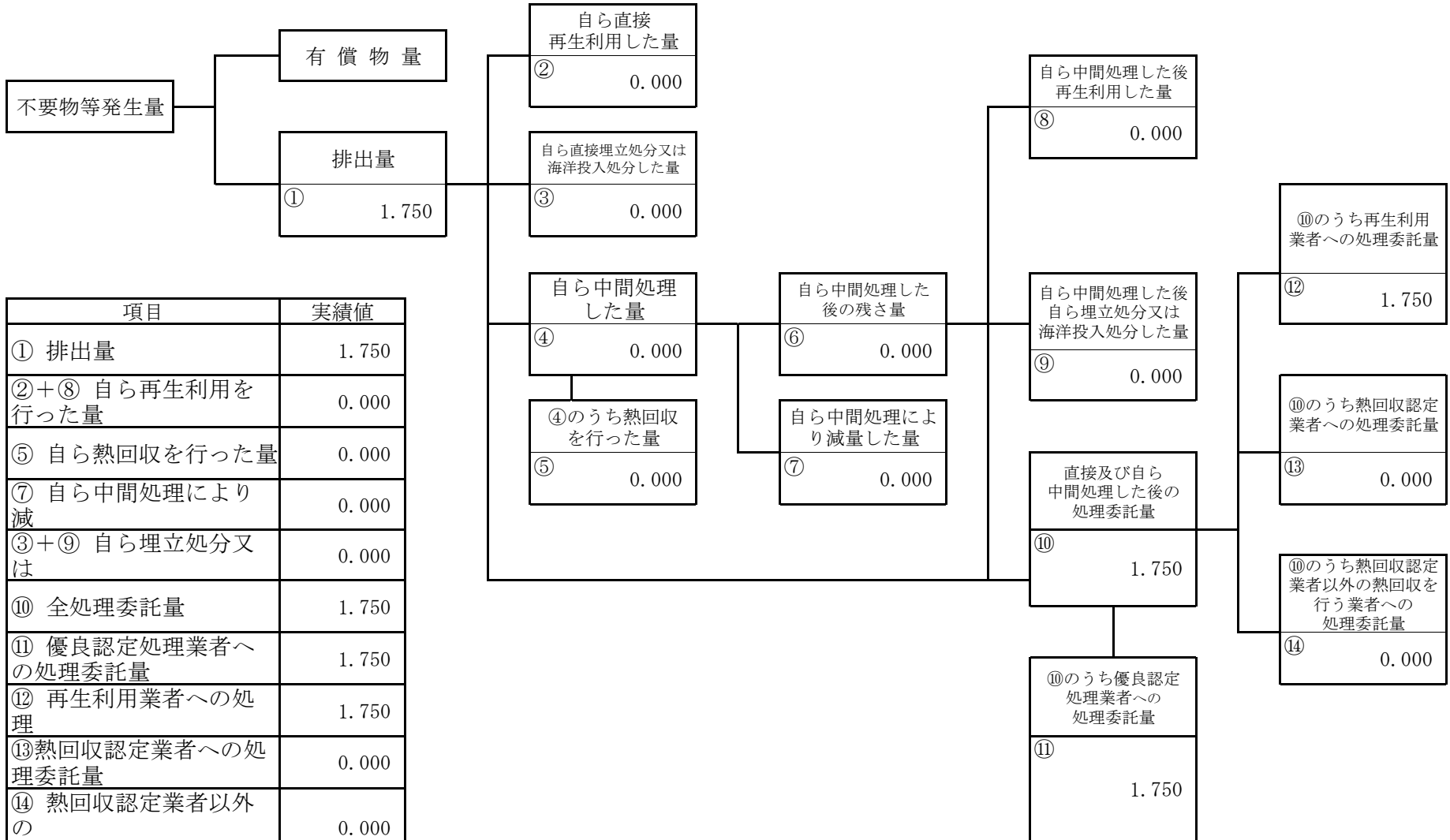
(産業廃棄物の種類 : 廃油)



項目	実績値
① 排出量	2,669.625
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	2,669.625
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2,669.305
⑫ 再生利用業者への処理	2,669.463
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.162
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃酸)



項目	実績値
① 排出量	1.750
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	1.750
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1.750
⑫ 再生利用業者への処理	1.750
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃アルカリ)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 3.290

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 3.290

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 3.290

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 3.290

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	3.290
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	3.290
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	3.290
⑫ 再生利用業者への処理	3.290
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃プラスチック類)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 197.460

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 197.460

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 140.390

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 197.460

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	197.460
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	197.460
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	140.390
⑫ 再生利用業者への処理	197.460
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

18.500

自ら直接
再生利用した量

②

0.000

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0.000

自ら中間処理
した量

④

0.000

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.000

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.000

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0.000

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

18.500

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0.000

⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を
行う業者への
処理委託量

⑭

0.000

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

18.500

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.000

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0.000

自ら中間処理によ
り減量した量

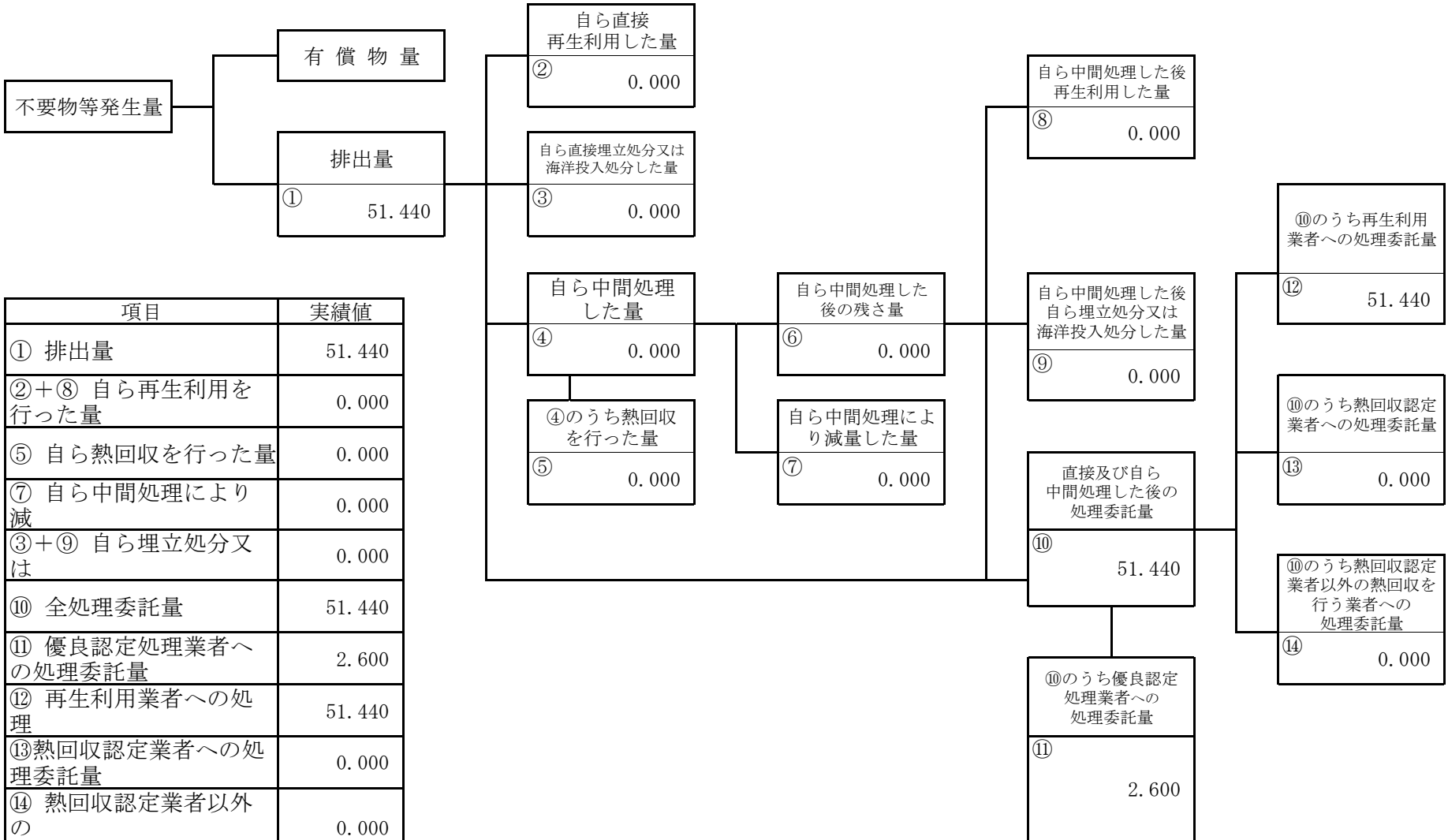
⑦

0.000

項目	実績値
① 排出量	18.500
②+⑧ 自ら再生利用を行 った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により 減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又 は	0.000
⑩ 全処理委託量	18.500
⑪ 優良認定処理業者へ の処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処 理	18.500
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外 の 熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



項目	実績値
① 排出量	51.440
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	51.440
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.600
⑫ 再生利用業者への処理	51.440
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : がれき類 (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物))

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 21.360

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 21.360

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0.000

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 21.360

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	21.360
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	21.360
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理	21.360
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 水銀使用製品産業廃棄物)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.280

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 0.280

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0.000

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0.280

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	0.280
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	0.280
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理	0.280
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 複合材)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.110

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 0.110

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0.110

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0.110

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	0.110
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は	0.000
⑩ 全処理委託量	0.110
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.110
⑫ 再生利用業者への処理	0.110
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処	0.000

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の宝飾仕訳を別紙に作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。